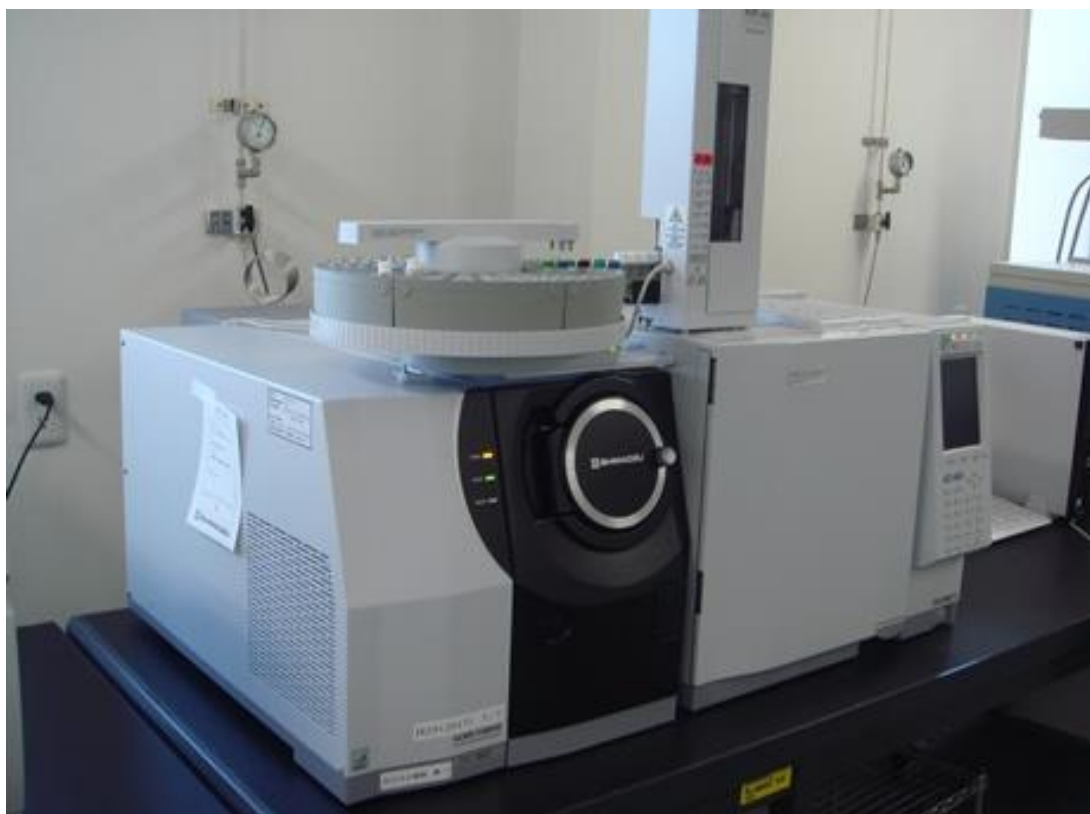


新規導入装置の紹介

主に、残留農薬検査で使用している「ガスクロマトグラフ質量分析計」を、新規導入いたしました。

トリプル四重極型ガスクロマトグラフ質量分析計 GCMS-TQ8040



優れた生産性を実現

新しいファームウェア・プロトコルによって、1分析で最大32,768トランジションによるMRM分析が可能に。従来は困難とされていた成分数での一斉分析ができるため、生産性が著しく向上します。

メソッド作成をサポート

多くのパラメータ設定を必要とするGC-MS/MS測定。ソフトウェア GCMSsolutionに、MRM測定に必要なトランジションを自動探索する機能を搭載したことで、メソッド作成をサポートします。さらに、メソッド作成機能「Smart MRM」によって、成分ごとに最適な測定時間を自動的に設定します。

高感度・高速分析を可能に

高感度イオン源や高効率コリジョンセルの搭載により、高感度分析を実現。また、高速スキャン制御技術（Advanced Scanning Speed Protocol:ASSP™）により、高速スキャン分析とスキャン/MRMの同時測定を可能にし、一度の分析で多くの情報を採取できます。